

川崎市一般介護予防事業 「いこい元気広場事業」

報告様式集等

令和6年 12月

川崎市役所健康福祉局

令和7年度～令和8年度「いこい元気広場事業」報告様式等について

報告書作成手順

- 1 業務実施報告書類の提出について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 年度末における処理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

様式

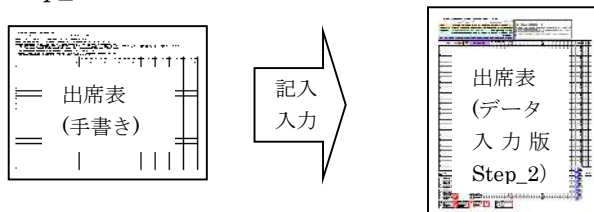
事業参加者出席表（手書き用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
事業参加者出席表・F S・卒業後状況確認シート（データ入力説明）・	9
Step1：初めに必ず入力・確認をしてください。・・・・・・・・・・	11
Step2：事業参加者出席表（データ入力版）・・・・・・・・・・	12
Step3：事業参加者F S（データ入力版）・・・・・・・・・・	13
参加者フェイスシート（F S）【様式1】・・・・・・・・・・	14
参加者フェイスシート（F S）の記入について・・・・・・・・・・	16
参加者フェイスシート（F S）の記入例・・・・・・・・・・	18
6か月後延長参加者用追加シート【様式2】・・・・・・・・・・	20
実施報告書（日報）【様式3】・・・・・・・・・・	21
実施報告書（月報）【様式4】・・・・・・・・・・	22
実施報告書（年報）【様式5】・・・・・・・・・・	23
見学者報告書【様式6】・・・・・・・・・・	24
不参加理由シート【様式7】・・・・・・・・・・	25
卒業後聞き取り対象者一覧表・・・・・・・・・・	26
事故・緊急対応報告書【様式9】・・・・・・・・・・	28
体調チェック項目・・・・・・・・・・	29
見学シート（例）・・・・・・・・・・	30
いこい元気広場参加者の方へ・・・・・・・・・・	31
個人情報に関する同意書【様式10】・・・・・・・・・・	33

1 業務実施報告書類の提出について

各業務報告書類の作成手順

(1) 【毎事業終了後】

「出席表（手書き）」を元に、参加者の個人情報及び出欠情報等を「出席表（データ入力版 Step_2）」に転記する。



(2) 【毎事業終了後】

「フェイスシート（手書き）」を元に、参加者の状況及び体力測定結果データ等を「出席表（データ入力版 Step_2 及び Step_3）」に転記する。



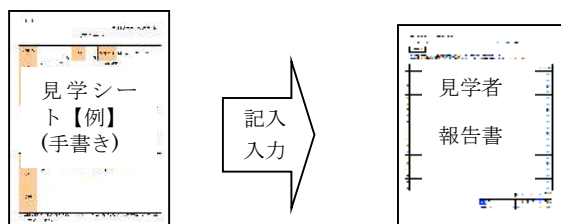
- ※ 「出席表（データ入力版）」は、年間 52 回、参加者 80 人分が入力できる様式となっている。「介護保険被保険者番号」「名前」「生年月日」「性別」「住所」「連絡先（電話番号）」「要介護度」「再参加回数」「再参加理由」「持病」「参加ルート」「参加者の状況」「参加結果」「備考」「実施日」を入力する。
- ※ 前年度からの継続参加者（「参加者の状況」で①を選択）については、前年度出席数、前年度欠席数を入力する。
- ※ 実施日における出欠席（初・○・×・長・○終・×終・長終）を入力する。出欠席において「初」を入力すると、その実施日付が「参加開始日」に反映し、「○終」「×終」「長終」を入力すると、その実施日付が「参加終了日」に反映する。
- ※ 実施日付における参加人数合計、初回参加者数、男女内訳、年齢内訳、参加ルート等は、エクセル表の下部に自動反映される。
- ※ 介護保険被保険者番号については、健康増進担当から毎月月末に前月新規参加者に係る介護保険被保険者番号等の情報をメールで送付するので、転記入力すること。
- ※ 出欠状況（○×等）は参加期間中のみ記入する。初回参加回以前、および卒業後や途中でやめてしまった後には×をつけないこと。
- ※ 初回参加者には「初」をつける。
- ※ 入院やケガ等により長期的に事業を休む際に、参加者が希望する場合は、区と協議の上、卒業時期を延長できる場合がある。卒業時期を延長する場合の欠席は、長期欠席の「長」を入力する。ただし、卒業時期の延長がない場合の欠席は、長期的であったとしても「×」を入力する。（長期欠席として扱わない）

※ 見学者は参加人数には含まないものとする。そのため、「出席表（データ入力版）」には入力しない。

※ 参加途中で参加者が誕生日を迎えて年齢が変わっても、年齢は変更しない。

(3) 【毎事業終了後】

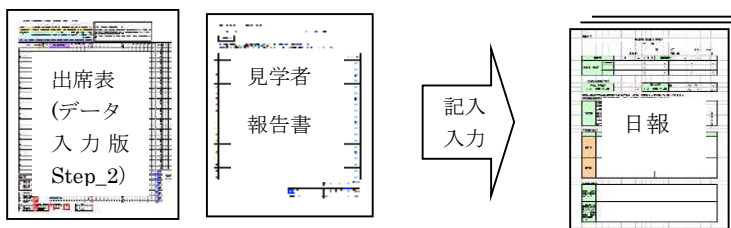
「見学シート（手書き）」を元に、傷害保険の対象となる見学者の個人情報及び出欠情報等を「見学者報告書（データ）」に転記する。



※ 傷害保険の対象とならない見学者（例：関係職員等）については、見学者報告書の作成は不要

(4) 【毎事業終了後】

「出席表（データ入力版）」及び「見学者報告書」を元に、「日報」を作成する。

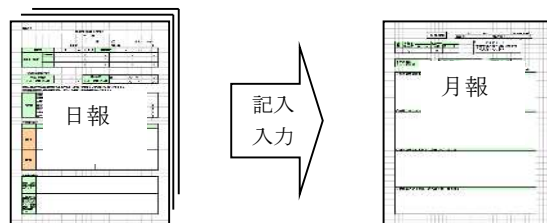


※ 参加人数合計と男女内訳には、見学者を含めない。

※ 傷害保険の対象とならない見学者についても、日報の見学者欄には具体的に記入する。

(5) 【毎月全事業終了後】

当月実施した全ての「日報」の数値等を元に、「月報」を作成する。



(6) 【毎月全事業終了後】

当月卒業者の以下の個人情報を「卒業後状況確認シート」に記載し、翌々月まで保管する。

※記載項目：実施会場、介護保険被保険者番号、氏名、性別、年齢、生年月日、住所、電話番号、参加期間、卒業時の今後の活動予定

(7)【卒業者発生から翌々月】

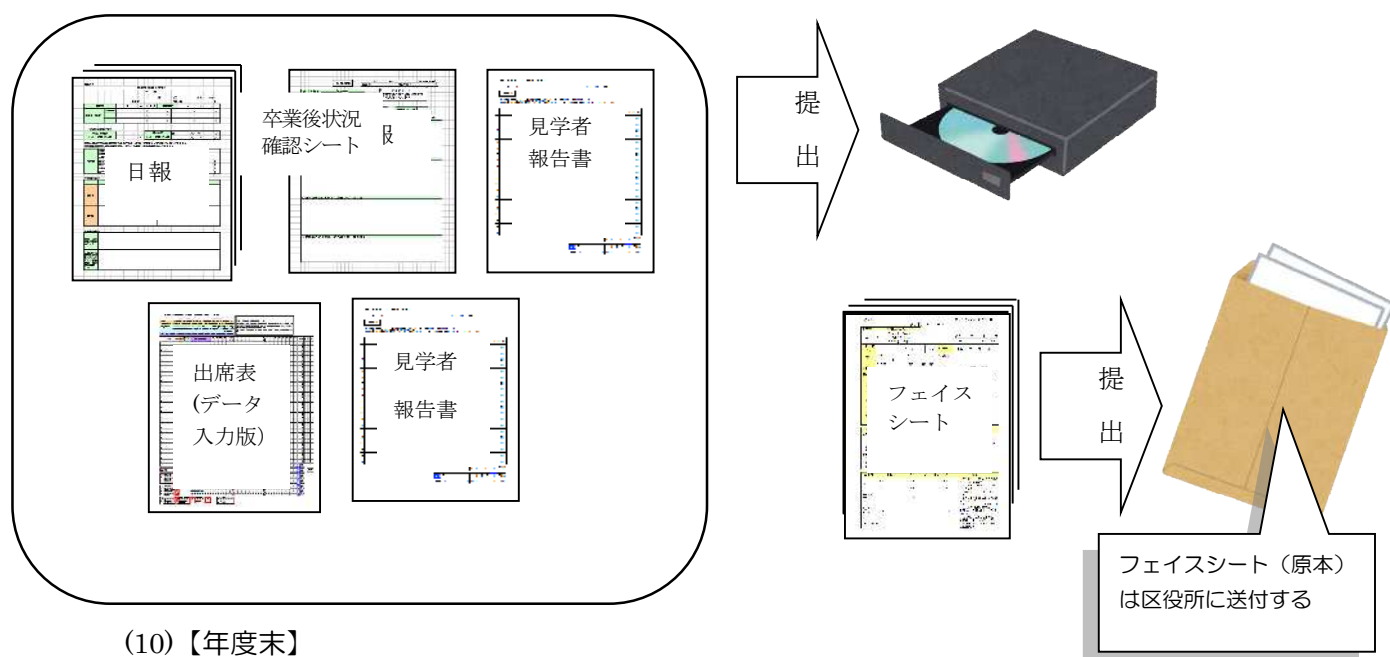
卒業者へ聞き取り調査を行うための「聞き取り対象者一覧表」を作成する。

(8)【卒業者発生から6ヶ月】

卒業者へ聞き取り調査を行うための「聞き取り対象者一覧表」を作成する。

(9)【毎月全事業終了後（報告）】

「日報」、「月報」、「見学者報告書」「卒業後状況確認シート」「出席表（データ入力版）」及び「見学者報告書」をデータ（DVD-R 等）に格納し、当月参加終了（卒業及び中断）した参加者の「フェイスシート（原本）」を添えて、提出する。また、事由が発生した場合、「不参加理由シート」や「個別対応が必要な参加者の参加者フェイスシートの写し」も格納する。（その他提出書類の詳細等は、次ページ表参照）。



(10)【年度末】

「月報」及び「出席表（データ入力版）」を元に、「年報」を作成する。



※ 年齢内訳及び参加ルート内訳の年間延人数、年間実数、参加結果は「出席表（データ入力版）」のエクセル表下部から転記する。中断者の年間実数は、内訳数を入力すると自動的に足し上げられる。

提出書類の整理

提出先	健康増進担当	各区地域支援課
紙媒体	【必須提出】 ①委託業務完了届※ ¹ ②請求書	【事由が発生した場合提出】 ③終了者のF S原本※ ¹ ④個別対応が必要な参加者のF S写し※ ¹
電子媒体 ※ ³	【必須提出】 ⑤日報※ ¹ ⑥月報※ ¹ (⑦年報※ ¹ ※ ²) ⑧見学者報告書※ ¹ ⑨出席表・F Sデータ入力表※ ¹ 【事由が発生した場合提出】 ⑩不参加理由シート※ ¹ ⑪6か月後延長参加者用追加シート写し(F S写しとセット)※ ¹ ⑫事故・緊急対応報告書※ ¹ ⑬運営調整会議議事録※ ¹ ⑭教室で使用了資料一式	
	【必須提出】 ⑮卒業2か月後・6か月後の聞き取り 対象者一覧表※ ¹	

※ 年度末には、上表に加えて、⑦年報を両提出先に提出すること。

※ FSはフェイスシートの略である。

業務実施報告書類の提出手段

提出方法は、個人情報保護の観点から、郵送または持ち込みとする。

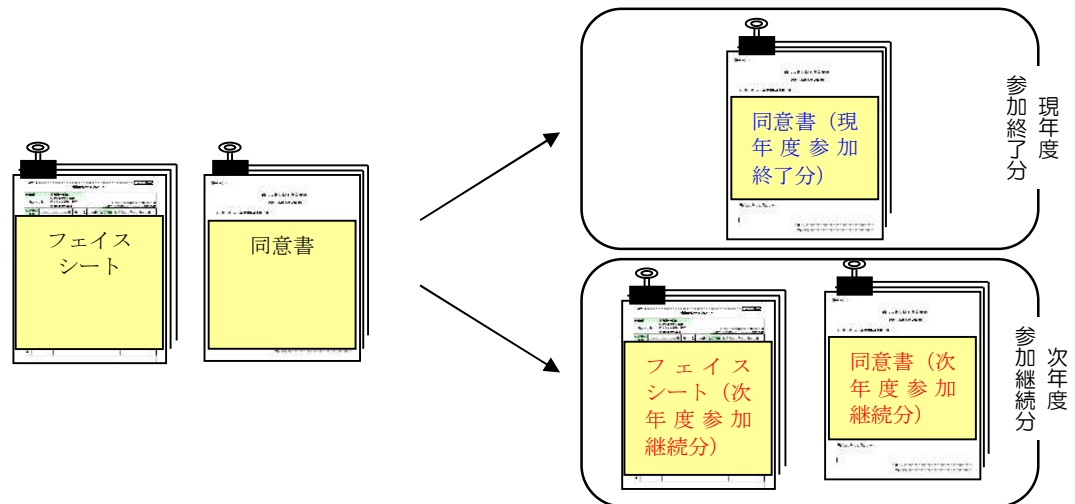
なお、郵送の場合は、信書を送付できること、配達状況の追跡が可能であること、郵便受け配達でなく対面配達であること、の3点を満たすサービスを利用すること。

2 年度末における処理について

報告書類等の整理

(1) 【3月上旬】

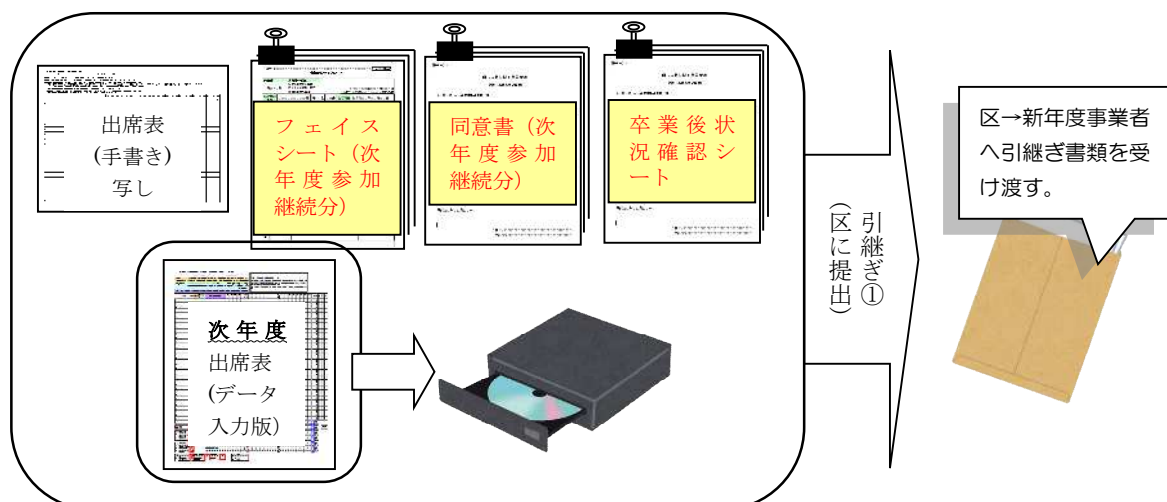
各いこいの家等会場ごとに、「フェイスシート」及び「同意書」を現年度参加終了分と次年度参加継続分とに分け、それぞれ出席表番号順に並び替えた上でまとめる。



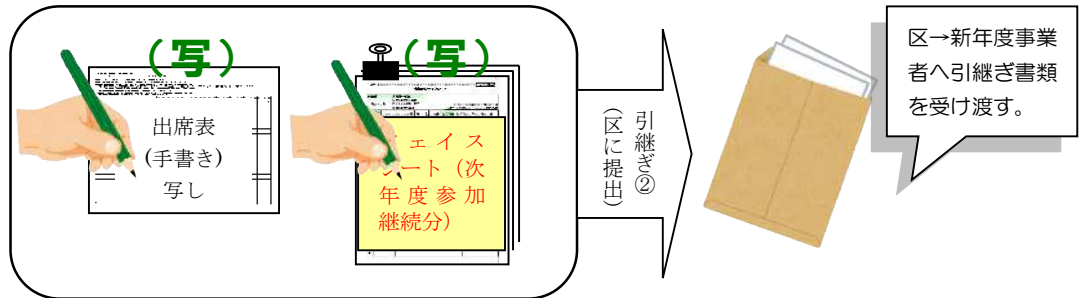
(2) 【3月中旬（区によって異なる）】

次期事業実施事業者へ引継ぎを行う場合、引継ぎ書類として以下を用意し、引継ぎまでに区（区の指示によっては次期事業実施事業者）に提出する。

- ・出席表（手書き）の写し
- ・フェイスシート（次年度参加継続分）
- ・同意書（次年度参加継続分）の原本
- ・次年度参加継続者のデータ転記完了済みの新年度様式「出席表（データ入力版）」データ（DVD-R 等）

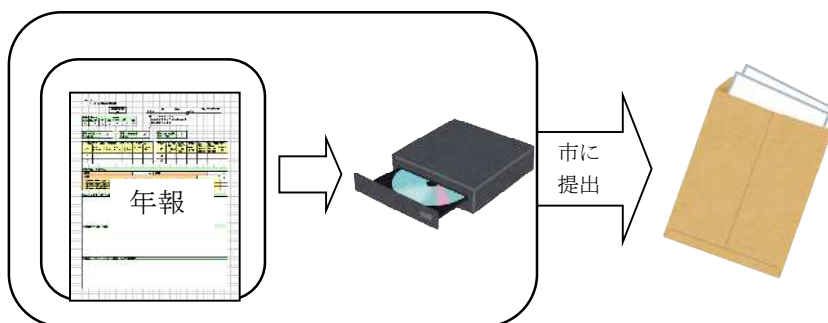


事業は3月末まで開催されるので、引継ぎ後も現年度事業者が、数回事業を実施する場合がある。そのため、引継ぎを行う際に、「出席表（手書き）」及び「フェイスシート（新年度継続参加分）」の写しを1部取り、引継ぎ後に得た情報（出欠状況や新年度継続参加者が年度末に行ったフレイル評価、引継ぎ後に来場した新規参加者の情報等）を引継ぎ後に得た情報であると分かる形（赤字で記載するなど）で記載し、現年度事業完了後、区（区の指示によっては次期事業実施事業者）へ提出する。次期事業者は、現年度事業者から追加提出された情報を、各原本に転記する。



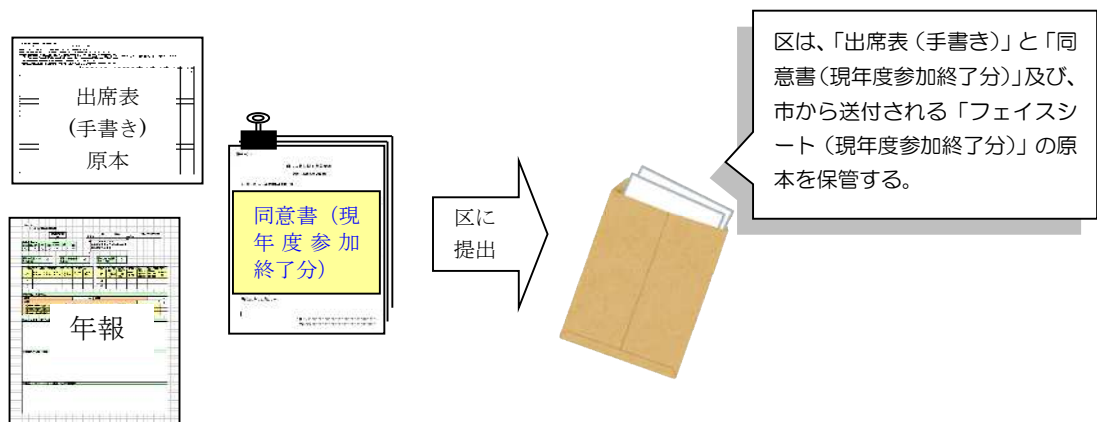
(3) 【現年度事業完了後】

毎月事業完了後提出書類に加え、「年報」を印刷し、別途データ（DVD-R 等）もあわせて提出する。



(4) 【現年度事業完了後】

毎月事業完了後提出書類に加え、「出席表（手書き）」及び「同意書（現年度参加終了分）」の原本、「年報」を区に提出する。



年度をまたぐ事業参加者の、出席表・フェイスシートデータ入力表画面の処理

年度をまたぐ事業参加者に関する出席表及びフェイスシートのデータ入力表については、以下のとおり処理する。

(5) 【Step_2 出席表(データ入力用)】

以下のデータを転記またはコピー＆ペースト（**値のみ**貼り付け）する。

以下のデータを転記またはコピー＆ペースト（**値のみ**貼り付け）する。

令和5年度版

被保険者番号	名 前	生年月日	年 齢	年 齢 内 訳	性 別	住 所	連絡先 (電話番号)	要介護度	再参加 回数	再参加 理由	持 病(治療中のもの)					参加 ル ー ト	参加者の 状 況	参加開始日	参加終了日	参加 結 果	備 考	前年度 出席数	前年度 欠席数	今年度 出席数	今年度 欠席数	合計 出席数	合計 欠席数	出席 率	1回	2回
例 1234567890	川崎 太郎	S11.11.11	80	①	男	多摩区堀ITAMARIゾート101	200-2111	要支援2	2	エ	1	2	3	4	5	①	②	H29.4.3	H29.12.25	卒業	メモ欄にてお使いください。			20	6	20	6	77%	初	〇
1																										0	0			
2																										0	0			
3																										0	0			

コピー＆ペースト（**値のみ**貼り付け）

年度をまたぐ参加者は
③→①に書き換え

数値を転記

令和6年度版

被保険者番号	名 前	生年月日	年 齢	年 齢 内 訳	性 別	住 所	連絡先 (電話番号)	要介護度	再参加 回数	再参加 理由	持 病(治療中のもの)					参加 ル ー ト	参加者の 状 況	参加開始日	参加終了日	参加 結 果	備 考	前年度 出席数	前年度 欠席数	今年度 出席数	今年度 欠席数	合計 出席数	合計 欠席数	出席 率	1回	2回
例 1234567890	川崎 太郎	S11.11.11	80	①	男	多摩区堀ITAMARIゾート101	200-2111	要支援2	2	エ	1	2	3	4	5	①	②	H29.4.3	H29.12.25	卒業	メモ欄にてお使いください。			20	6	20	6	77%	初	〇
1																										0	0			
2																										0	0			
3																										0	0			

(6) 【Step_3 FS(データ入力用)】

新年度版には、現年度版で入力した初回聞き取り事項等のデータを転記またはコピー＆ペースト（**値のみ**貼り付け）する。

【年齢内訳】 年齢内訳(①65～69歳②70～74歳③75～79歳④80～84歳⑤85歳以上⑥64歳以下)は入力不要です。

【参加ルート内訳】 ①紹介(区) ②紹介(包括) ③チラシ・ポスター ④おともだち紹介 ⑤市からのダイレクトメールを見て ⑥タウンニュースを見て ⑦知人からの紹介 ⑧いこいの家利用時に紹介 ⑨その他

【参加者の状況】 ①前年度から継続 ②今年度新規→終了 ③次年度へ継続

【参加結果】 6か月(延長の場合は最長1年)参加し、卒業した場合は「卒」を、次年度に継続の場合は「継」を、1～5ヶ月以内に事業参加をやめてしまった場合は中断理由を下記①～⑨から選んで御記入ください。

中断理由: ①運動の強度が自分には強すぎると感じた。 ②運動の強度が自分には軽すぎると感じた。 ③プログラム内容に魅力を感じなかった。 ④家族の介護等、本人以外の事情で参加できなくなった。 ⑤趣味の教室や地域で行われている活動に参加するようになった。

⑥本人の体調の悪化(通院、入院、転倒によるケガや骨折等)により参加できなくなった。 ⑦介護認定の申請をした。 ⑧外出することが億劫になった。 ⑨その他

※入力にあたっての注意事項

①出欠(○×初長続等)は参加期間中だけ付けてください。初回参加回以前、および卒業後や中断後には×を付けないでください。

②出席回は「○」、欠席回は「×」。初回参加回に「初」、長期欠席は「長」、参加終了回は出欠状況に応じて「○終」「×終」「長終」のいずれかを付けてください。

※入院やケガ等により長期的に事業を休む際に、参加者が希望する場合は、区と協議の上、卒業時期の延長ができることもあります。

卒業時期を延長する場合の欠席は、長期欠席の「長」としてください。

ただし、卒業時期の延長がない場合の欠席は、長期的であったとしても「×」としてください。(長期欠席として扱わない)

③見学者は参加人数には含みません。「事業参加者出席表」にも記入しないでください。

④傷害保険の対象となる見学者については、別途「見学者報告書」を作成し、日報にも見学者として計上してください。

傷害保険の対象とならない見学者についても、日報に具体的に記入してください。

⑤参加途中で参加者が誕生日を迎え、年齢が変わった場合でも、年齢、年齢内訳は変更しないでください。

No	被保険者番号	名 前	生年月日	年齢	年齢内訳	性別	住 所	連絡先 (電話番号)	要介護度	再参加回数	再参加理由	持病(治療中のもの)	参加ルート	参加者の状況	参加開始日	参加終了日	参加結果	備考	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回	14回	15回	16回	17回	18回	
																			/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1					/																																
2					/																																
3					/																																
4					/																																
5					/																																
6					/																																
7					/																																
8					/																																
9					/																																
10					/																																
11					/																																
12					/																																
13					/																																
14					/																																
15					/																																
16					/																																
17					/																																
18					/																																
19					/																																
20					/																																
21					/																																
22					/																																
23					/																																
24					/																																
25					/																																

(step_2) 事業参加者 出席表 (データ入力説明)

1. このデータ入力用出席表で事業者が入力する箇所

①基本データを入力する箇所は白セルです。

被保険者番号、名前、生年月日、性別、住所、連絡先(電話番号)、要介護度、再参加回数、再参加理由、持病、参加ルート、参加者状況、参加結果、備考、実施日を
入力してください。また、前年度からの継続参加者については、前年度出席数、前年度欠席数も入力してください。

そして出席回は「○」、欠席回は「×」、初回参加回に「初」、長期欠席は「長」、参加終了回は出欠状況に応じて「○終」「×終」「長終」のいずれかを付けてください。

②下記のセルは入力不要です(入力不要のセルは灰色に塗られています)。

年齢、年齢内訳、参加開始日、参加終了日、今年度出席数、今年度欠席数、合計出席数、合計欠席数、出席率は自動算出されるため入力不要です。

	被保険者番号	名 前	生年月日	年 齢	年 齢 内 訳	性 別	住 所	連絡先 (電話番号)	要介護度	再参加 回数	再参加 理由
例	1234567890	川崎 太郎	S15.11.11	79	①	男	多摩区堀1TAMARリゾート101	200-2111	要支援2	2	エ
1	0000000001	幸 次郎	S12.1.1	83	④	男	多摩区堀1TAMARリゾート102	200-2112	要支援1	1	ア
2	0000000002	中原 三郎	S12.1.2	83	④	男	多摩区堀1TAMARリゾート103	200-2113			
3	0000000003	高津 花子	S12.1.3	83	④	女	多摩区堀1TAMARリゾート104	200-2114	要支援2		
4	0000000004	多摩川 みどり	S12.1.4	83	④	女	多摩区堀1TAMARリゾート105	200-2115		1	エ

…入力不要箇所

出席回は「○」、欠席回は「×」、
初回参加回に「初」、長期欠席は「長」、参加
終了回は出欠状況に応じて「○終」「×終」
「長終」のいずれかを付けてください。

例) 4月11日から参加開始の高津花子さんは、
4月11日から出欠を取りますので、それ以前の
実施日には×をつけないでください。

持 病(治療中のもの)							参加 ルート	参加者 の状況	参加開始日	参加終了日	参加 結果	備 考	前年度 出席数	前年度 欠席数	今年度 出席数	今年度 欠席数	合計 出席数	合計 欠席数	出席 率	1回 4/4	2回 4/11	3回 4/18	4回 4/25	5回 5/2	6回 5/9	7回 5/16	8回 5/23	9回 5/30	52回	今年度出席数	
1	2	3	4	5			①	②	R2.4.4	R2.11.21	卒業	メモ欄としてお使いください。			20	6	20	6	77%	初	○	○	○	○	○	×	×	○		20 回	
1	2	3	4	5	6	7	①	①	R2.2.4	R2.3.20	卒業		3	0	9	0	12	0	100%	○	○	○	○	○	○	○	○	○終		9 回	
2	3	4	5	6	7		②	②	R2.4.4	R2.5.23	中断⑥				4	4	4	4	50%	初	○	×	○	×	○	×	×	終		4 回	
3	4	5	6	7			③	③	R2.4.11	R2.5.30	中断③				7	1	7	1	88%		初	×	○	○	○	○	○	○終		7 回	
4	5	6	7				④	①	R2.4.11	R2.5.23	卒業		6	1	4	3	10	4	71%		初	×	×	○	×	○	○終		4 回		
参加者数合計																				2	4	1	3	3	3	3	3	2	0	24	年延人数

参加開始日、参加終了日は手動入力も可能です。

2. 日報や月報に転記する箇所

自動出力されたデータを日報や年報、フェイスシートを作成する際に転記してください。

■ 日報を作成する際に転記するもの

参加人数合計、参加人数男女内訳、初回参加者数、初回参加者男女内訳

延数		男性	2	2	1	2	1	2	1	1	1	0	13	年男 延女 数比
男女比	女性	0	2	0	1	2	1	2	2	2	1	0	11	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
延数		合計	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	年 初 延 回 数 者
初 回	男性	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	女性	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
その他	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ 日報に転記

■年報を作成する際に転記するもの

年齢内訳及び参加ルート内訳の年間延人数、年間実数、参加結果参加人数合計、参加人数男女内訳、初回参加者数、初回参加者男女内訳

年齢内訳	実数	①65～69歳	0
		②70～74歳	0
		③75～79歳	4
		④80～84歳	0
		⑤85歳以上	0
		⑥64歳以下	0
参加ルート	実数	①紹介（区）	1
		②紹介（包括）	1
		③チラシ・ポスター	1
		④知人などからの紹介	1
		⑤いこいの家利用時に紹介	0
		⑥その他	0

■年報に転記

参加者の状況	実数	①前年から	2
		②今年度	1
		③次年度へ	1
参加結果	実数	卒業	2
		次年度へ継続	0
		①強度が強いと感じた	0
		②強度が弱いと感じた	0
		③プログラム内容	0
		④本人以外の事情	0
		⑤他の活動へ	0
		⑥体調不良	1
		⑦介護申請	0
		⑧外出が億劫	1
		⑨その他	0

■年報に転記

年齢内訳	延数	①65～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		②70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		③75～79歳	2	4	1	3	3	3	3	3	3	3	3	0	25	0	0	0	0	0	0	0
		④80～84歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤85歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥64歳以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
参加ルート	延数	①紹介（区）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	9	0	0	0	0	0	0	0
		②紹介（包括）	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
		③チラシ・ポスター	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	7	0	0	0	0	0	0	0
		④知人などからの紹介	0	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑤いこいの家利用時に紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		⑥その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

■年報に転記

※上記の表は例ですので、記載の際には実際の内容に沿って入力してください

3. 入力にあたっての注意事項

- ①出欠（○×初長終等）は参加期間中だけ付けてください。初回参加回以前及び卒業後や中断後には×を付けないでください。
- ②出席回は「○」、欠席回は「×」初回参加回に「初」、長期欠席は「長」、参加終了回は出欠状況に応じて「○終」「×終」「長終」のいずれかを付けてください。
※入院やケガ等により長期的に事業を休む際に、参加者が希望する場合は、区と協議の上、卒業時期の延長ができることもあります。
卒業時期を延長する場合の欠席は、長期欠席の「長」としてください。
ただし、卒業時期の延長がない場合の欠席は、長期的であったとしても「×」としてください。（長期欠席として扱わない）
- ③64歳以下でも継続参加が必要な方は、継続参加者として「事業参加者出席表」に記入してください。
- ④見学者は参加人数には含みません。「事業参加者出席表」にも記入しないでください。
- ⑤傷害保険の対象となる見学者については、別途「見学者報告書」を作成し、日報にも見学者として計上してください。
傷害保険の対象とならない見学者についても、日報に具体的に記入してください。
- ⑥参加途中で参加者が誕生日を迎え、年齢が変わった場合でも、年齢、年齢内訳は変更しないでください。

Step 1 : 初めに必ず入力・確認をしてください。

年度(和暦) :	令和7年度
▼	
プログラム名(略称) :	いこい元気広場
▼	
区名 :	多摩区
▼	
地区番号 :	(19)地区
▼	
会場名 :	多摩老セン

◆◆Step_2・Step_3・Step_4・Step_5における入力にあたっての注意事項◆◆

※シート名は絶対に変更しないでください。

※行や列、セルの挿入・削除は絶対にしないでください。

※コピー＆ペーストをする場合は、必ず「値のみ貼り付け」をしてください。

そのまま貼り付けると計算式等が壊れてしまう可能性があります。

※行は上から順に詰めて入力してください(間に空欄の行を作らないでください)。

※名前は名字と名前の間に全角スペースを入力してください。

※日付の入力は下記の2点を注意してください。

①年号は和暦のアルファベット(明治 : M、大正 : T、昭和 : S、平成 : H)

②数字はすべて半角で入力

※自動反映箇所

Step 3 ◆◆◆ **事業参加者 F S** (データ入力版) ◆◆◆

令和6年度		(入力の際のご注意) ※他セルデータを貼り付けて入力する場合は、 必ず「形式を選択して貼り付け」(または数式)を貼り付けを行ってください。 保護設定のため形式を選択しない貼り付けはできません。 ※白セルが入力箇所となります(灰色セルは入力不要です)。初回開き取り事項以降は、フェイスシートの内容を入力してく
いこい元気広場		
多摩区	(19)地区	
多摩老セン		

[illegible]

「いこい元気広場事業」参加者フェイスシート

同意書	参加者の状況	再参加の場合	参加結果	作成： 年 月 日 返却： 年 月分報告時 区 地区 事業者 記入者			
有・無	①前年度から継続 ②今年度新規→終了 ③次年度へ継続	ア.要支援 イ.事業対象者 ウ.区との協議 エ.おともだち	①卒業 ②中断 理由（ ） ③長欠				
介護保険被保険者番号	ふりがな 氏名	様	性別	年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和 年 月 日
住所	(〒 ー) 区		電話番号 () ー				
緊急 連絡先	①氏名	続柄 ()	電話番号〈自宅・勤務先・携帯〉 () ー				
	②氏名	続柄 ()	電話番号〈自宅・勤務先・携帯〉 () ー				
主治医	機関 医師名		電話番号 () ー				
持病 治療中のものに ○	①高血圧 ②脳血管障害 ③心臓病 () ④糖尿病 ⑤肝臓病 () ⑥腎臓病 () ⑦喘息 ⑧関節リウマチ ⑨骨粗鬆症 ⑩腰痛 ⑪膝痛・膝関節障害 ⑫その他(上記以外の病気、痛みのある部位等) []						
参加 ルート 複数回答可	①区役所からの紹介 ②地域包括支援センターからの紹介 ③チラシ・ポスターを見て ④お友達紹介キャンペーン(再参加)(紹介した人：) ⑤市からのダイレクトメールを見て ⑥タウンニュースを見て ⑦家族・友達など知人からの紹介(紹介された人：) ⑧老人いこいの家利用時に紹介された(知った) ⑨その他 ()						
参加 理由 複数回答可	①事業内容に興味を持ったため ②家でも行える体操等を覚えたいと思ったため ③日中集まれる場所がほしいと思っていたため ④新しい友人を作りたいと思っていたため ⑤友人に誘われた、区役所から電話があったなど、人に勧められたため ⑥その他 ()						
暮らしの 状況	①一人暮らし ②高齢者のみの世帯 ③①または②だが、近所に子ども等がいる ④子ども等の家族と同居している ⑤④だが、日中は家に一人でいることが多い ⑥その他 ()						

体力測定		初回月 (/)	5か月 (/)	備考
握力	左	kg	kg	・両方の手を2回測定、それぞれの良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。
	右	kg	kg	
開眼片足立ち		秒	秒	・60秒以内で2回測定、良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。
Time Up & Go		秒	秒	・2回測定、良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。

※裏面に続きます

6か月後の参加者の個人目標《初回》	目標の達成度《6か月後》	
	達成度を0～100点で評価 _____点	
プログラム参加にあたって配慮すること《初回》	6か月後の変化・評価《6か月後》	

事前事後評価	初回	6か月後
1. いこい元気広場以外で外出（会合、お茶飲み、散歩等）をしていますか？ ⑤週2回以上 ④週1回程度 ③月1回程度 ②年2～3回程度 ①ほとんどない ⑤や④の場合、その内容は何ですか？（複数回答可） ア. 会合や習い事、趣味の教室、公園体操等のために外出している。 イ. 家族や友人等に会うために外出している。 ウ. 日用品等の買物のために外出している。 エ. ウォーキングや散歩の習慣がある。 オ. その他（ ）		
2. いこい元気広場以外で運動や趣味のために参加している活動はありますか？ ①ある ②ない ①の場合、その内容は何ですか？（複数回答可） ア. 運動のグループ イ. 習い事や趣味のグループ ウ. ボランティア活動 エ. いこい元気広場以外の市や区が主催する教室 オ. その他 ⇒グループ名や内容を教えてください（ ）		
3. 友人、近所の人等との付き合いがありますか？ ⑤毎日 ④週2～3回 ③週1回程度 ②月1回程度 ①ほとんどない		
4. 家事や庭仕事、ペットの世話等、家の中で体を動かす習慣がありますか？ ⑤毎日 ④週2～3回 ③週1回程度 ②月1回程度 ①ほとんどない		
5. 卒業後の介護予防活動の継続について、考えていることはありますか？ ①ある ②特にない ①の場合、その内容は何ですか？（複数回答可） ア. 地域のグループに参加（名称・内容： ） イ. 自主グループの立上げ希望 ウ. 自宅で体操を継続 エ. その他（ ）		

6か月後聞き取り事項
いこい元気広場に参加してから生活に変化がありましたか ①あった ②特にない ①の場合、どのような変化がありましたか（複数回答可） ア. 生活に張りができた イ. 意欲がわくようになった ウ. 新しい友人ができた エ. いこい元気広場以外で外出する習慣ができた オ. 体操や散歩等、体を動かすようになった カ. 膝や腰の痛みが和らいだり、杖を使う回数が減ったりなど、体が楽になった キ. 人とよく話すようになった ク. その他（ ）

終了後の支援のためのコーディネート内容		
【1～2か月目】	【3～4か月目】	【5～6か月目】
今後の支援（区役所に伝えたい内容等）《6か月後》		
該当する場合○を付けてください	要介護度：事業対象者・要支援1・要支援2 / 6か月後も延長参加	

【様式10-2】「個人情報に関する同意書」の提出の有無により○をつける。

川崎市に FS を返却する際、返却年月を記入する。

FSの記入について

「いこい元気広場事業」参加者登録シート

いこいの家以外で実施した場合は「いこいの家」に斜線を引く。

同意書	参加者の状況	再参加の場合	参加結果
有・無	①前年度から継続 ②今年度新規参加者 ③次年度へ継続	ア.要支援 イ.事業対象者 ウ.区との協議 エ.おともだち	①卒業 ②中断 理由() ③長欠
作成：_____ 返却：____年____月____日 _____区_____地区 事業者_____ 記入者_____			
介護保険被保険者番号 _____ 氏名 _____ 川崎市から前月新規参加者の介護保険被保険者証番号が送付され次第、転記する。			
主治医 _____ 電話番号 _____ 持病 _____ 治療中の薬 _____			
参加終了時、いずれかに○をつける。 ① : 前年度から次年度に年度をまたいで参加している方 ② : 現年度から新規で参加し、かつ、現年度中に参加終了する方 ③ : 前年度又は現年度から次年度に年度をまたいで参加する方			
参加ルート 複数回答可 ①区役所からの紹介 ②地域包括支援センターから ④お友達紹介キャンペーン(再参加)(紹介した人) ⑤市からのダイレクトメールを見て ⑥タウンニュースを見て ⑦家族・友達などから ⑧老人いこいの家利用時に紹介された(知人)			
参加理由 複数回答可 ①事業内容に興味を持ったため ②家 ③日中集まれる場所がほしいと思っていた ⑤友人に誘われた、区役所から電話があった ⑥その他()			
暮らしの状況 ①一人暮らし ②高齢者のみの世帯 ④子ども等の家族と同居している ⑤④だが、日中は家に一人でいることが多い ⑥その他()			

終了の理由(①か②)または長期欠席(③)いずれかに○をつける。
中断の場合、()内に中断理由番号【①運動の強度が自分には強すぎると感じた。②運動の強度が自分には軽すぎると感じた。③プログラム内容に魅力を感じなかった。④家族の介護等、本人以外の事情で参加できなくなった。⑤趣味の教室や地域で行われている活動に参加するようになった。⑥本人の体調の悪化(通院、入院、転倒によるケガや骨折等)により参加できなくなった。⑦介護認定の申請をした。⑧外出することが億劫になった。⑨その他】を記入する。

対象者が再参加である場合、いずれかに○をつける。
ア. 要支援認定を受けている者
イ. 介護予防・生活支援サービス事業対象者
ウ. 各区地域支援課との協議の結果、本事業への再参加が必要と認められる者
エ. 本事業に参加したことのない者が、本事業を紹介されて新規参加者として登録された場合に、その紹介した者

体力測定		初回月(/)	5か月(/)	備考
握力	左	kg	kg	・両方の手を2回測定、それぞれの良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。
	右	kg	kg	
開眼片足立ち		秒	秒	・60秒以内で2回測定、良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。
Time Up & Go		秒	秒	・2回測定、良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。

※裏面に続きます

6か月後の参加者の個人目標《初回》	目標の達成度《6か月後》
参加者に合った達成可能な“具体的”目標を立て、参加者が記入する。目標が抽象的（健康になりたい、楽しく暮らしたい等）にならないよう注意する。	6か月後の変化・評価《6か月後》
事業者が記入する。	事業者が記入する。

事前事後評価	初回	6か月後
1. いこい元気広場以外で外出（会合、お茶飲み、散歩等）をしていますか？ ⑤週2回以上 ④週1回程度 ③週1回程度 ②年2～3回程度 ①ほとんどない ⑤や④の場合、その内容は？（複数回答可） ア. 会合や習い事、趣味の教室、公園などに外出している。 イ. 家族や友人等に会う ウ. 日用品等の買物のため エ. ウォーキングや散歩		
2. いこい元気広場以外で ①ある ②ない ①の場合、その内容は？ ア. 運動のグループ イ. いこい元気広場以外 ⇒グループ名や内容を教		
3. 友人、近所の人等との ⑤毎日 ④週2～3回 ③週1回程度 ②月1回程度 ①ほとんどない		
4. 家事や庭仕事、ペットの世話等、家の中で体を動かす習慣がありますか？ ⑤毎日 ④週2～3回 ③週1回程度 ②月1回程度 ①ほとんどない		
5. 卒業後の介護予防活動の継続について、考えていることはありますか？ ①ある ②特にない ①の場合、その内容は？（複数回答可） ア. 地域のグループに参加（名称・内容：） イ. 自主グループの立上げ希望 ウ. 自宅で体操を継続 エ. その他（）		

事前事後評価を実施し、評価項目から参加者が「閉じこもり予備軍」であるか「非閉じこもり」であるかをチェックしてください。チェックの仕方は、いこい元気広場事業実施マニュアル内『卒業判断基準（閉じこもり予備軍について）』を参照する。

初回参加時に「閉じこもり予備軍」と判断された参加者には、地域の中で行われている様々な地域活動について、特に積極的に情報を提供する。また、該当者のフェイスシートの写しを翌月の報告書と共に区役所に提出する。事業者のみの対応で困難な場合は、必ず速やかに区役所に相談する。

6か月	いこい
①の場合、どのような ア. 生活に張り気が イ. いこい元気広 ウ. 膝や腰の痛み エ. 人とよく話	その際は、「事前事後評価（初回参加時）」5 の回答内容を踏まえる。 また、参加期間は原則6か月だが、卒業時に、このままいこい元気広場を終了してしまうと、うつや閉じこもりになる恐れの強い方については、区役所と協議の上、さらに最長6か月まで参加期間を延長することができる。その場合、○をつけ、フェイスシートの写しと「6か月後延長参加者用追加シート」をクリップ留めして区役所に提出する。

終了後の支援のためのコーディネート内容	
【1～2か月目】	【3～4か月目】
今後の支援（区役所に伝えたい内容等）《6か月後》	また、参加期間は原則6か月だが、卒業時に、このままいこい元気広場を終了してしまうと、うつや閉じこもりになる恐れの強い方については、区役所と協議の上、さらに最長6か月まで参加期間を延長することができる。その場合、○をつけ、フェイスシートの写しと「6か月後延長参加者用追加シート」をクリップ留めして区役所に提出する。
該当する場合○を付けてください	要介護度：事業対象者・要支援1・要支援2 / 6か月後も延長参加

「いこい元気広場事業」参加者フェイスシート

同意書	参加者の状況	再参加の場合	参加結果	作成：令和6年 4 月 3 日 返却：令和6年 10 月分報告時 幸区 ④ 地区 河原町の陽だまり 事業者 株式会社〇〇 記入者 〇〇〇			
有・無	①前年度から継続 ②今年度新規→終了 ③次年度へ継続	ア.要支援 イ.事業対象者 ウ.区との協議 エ.おともだち	①卒業 ②中断 理由（ ） ③長欠				
介護保険被保険者番号 1234567890	ふりがな 氏名	かわさき はなこ 川崎花子様	性別 女	年齢 65 歳	生年 月日	明治 大正 昭和 33 年 5 月 5 日	
住所	(〒 210 - 8577) 電話番号 (044) 200 - 3718 川崎区 宮本町 1 番地						
緊急 連絡先	①氏名 川崎 太郎 (夫) 続柄		電話番号 ①自宅 勤務先・携帯 (044) 000 - 0000				
	②氏名 川崎 小太郎 (子) 続柄		電話番号 ①自宅・勤務先・携帯 (090) 0000 - 0000				
主治医	機関 いこい病院 医師名 いこい げんき先生			電話番号 (044) 123 - 4567			
持病 治療中のものに ○	①高血圧 ②脳血管障害 ③心臓病 () ④糖尿病 ⑤肝臓病 () ⑥腎臓病 () ⑦喘息 ⑧関節リウマチ ⑨骨粗鬆症 ⑩腰痛 ⑪膝痛・膝関節障害 ⑫その他 (上記以外の病気、痛みのある部位等) []						
参加 ルート 複数回答可	①区役所からの紹介 ②地域包括支援センターからの紹介 ③チラシ・ポスターを見て ④お友達紹介キャンペーン (再参加) (紹介した人： いこい げんきさん) ⑤市からのダイレクトメールを見て ⑥タウンニュースを見て ⑦家族・友達など知人からの紹介 (紹介された人：) ⑧老人いこいの家利用時に紹介された (知った) ⑨その他 ()						
参加 理由 複数回答可	①事業内容に興味を持ったため ②家でも行える体操等を覚えたいと思ったため ③日中集まれる場所がほしいと思っていたため ④新しい友人を作りたいと思っていたため ⑤友人に誘われた、区役所から電話があったなど、人に勧められたため ⑥その他 ()						
暮らしの 状況	①一人暮らし ②高齢者のみの世帯 ③①または②だが、近所に子ども等がいる ④子ども等の家族と同居している ⑤④だが、日中は家に一人でいることが多い ⑥その他 ()						

体力測定		初回月 (4 / 6)		5か月 (9 / 6)		備考
握力	左	9.2	kg	10.3	kg	・両方の手を2回測定、それぞれの良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。
	右	12.2	kg	14	kg	
開眼片足立ち		15	秒	33	秒	・60 秒以内で2 回測定、良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。
Time Up & Go		10	秒	8	秒	・2 回測定、良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。

※裏面に続きます

6か月後の参加者の個人目標《初回》	目標の達成度《6か月後》
・ 親しい友達を5人作る ・ 10分のウォーキングができるようになる	達成度を0～100点で評価 90 点
プログラム参加にあたって配慮すること《初回》	6か月後の変化・評価《6か月後》
・ 腰痛持ちのため、腰を伸ばす動作の際にはできる範囲で行うように声掛けし、中止する。 ・ 自宅での運動プログラム等でも、腰痛改善に効果的な運動を積極的に紹介する。	・ 姿勢が良くなり、歩幅も広くなったように感じる。

事前事後評価	初回	6か月後
1. いこい元気広場以外で外出（会合、お茶飲み、散歩等）をしていますか？ ⑤週2回以上 ④週1回程度 ③月1回程度 ②年2～3回程度 ①ほとんどない	③	④
⑤や④の場合、その内容は何ですか？（複数回答可） ア. 会合や習い事、趣味の教室、公園体操等のために外出している。 イ. 家族や友人等に会うために外出している。 ウ. 日用品等の買物のために外出している。 エ. ウォーキングや散歩の習慣がある。 オ. その他（ ）		アイウ
2. いこい元気広場以外で運動や趣味のために参加している活動はありますか？ ①ある ②ない	②	①
①の場合、その内容は何ですか？（複数回答可） ア. 運動のグループ イ. 習い事や趣味のグループ ウ. ボランティア活動 エ. いこい元気広場以外の市や区が主催する教室 オ. その他 ⇒グループ名や内容を教えてください（ ）		アイ
3. 友人、近所の人等との付き合いがありますか？ ⑤毎日 ④週2～3回 ③週1回程度 ②月1回程度 ①ほとんどない	③	④
4. 家事や庭仕事、ペットの世話等、家の中で体を動かす習慣がありますか？ ⑤毎日 ④週2～3回 ③週1回程度 ②月1回程度 ①ほとんどない	③	④
5. 卒業後の介護予防活動の継続について、考えていることはありますか？ ①ある ②特にない	①	①
①の場合、その内容は何ですか？（複数回答可） ア. 地域のグループに参加（名称・内容： ） イ. 自主グループの立上げ希望 ウ. 自宅で体操を継続 エ. その他（ ）	ア	アイ

6か月後聞き取り事項
いこい元気広場に参加してから生活に変化がありましたか ①あった ②特にない
①の場合、どのような変化がありましたか（複数回答可） ア. 生活に張りができた イ. 意欲がわくようになった ウ. 新しい友人ができた エ. いこい元気広場以外で外出する習慣ができた オ. 体操や散歩等、体を動かすようになった カ. 膝や腰の痛みが和らいだり、杖を使う回数が減ったりなど、体が楽になった キ. 人とよく話すようになった ク. その他（ ）

終了後の支援のためのコーディネート内容		
【1～2か月目】 腰痛が改善したら、教室終了後にも運動が継続できるような場所に興味を持っている様子。 「〇〇体操」のチラシを配布	【3～4か月目】 同時期に卒業予定の5人と親しくなった様子。皆で「〇〇体操」の様子を見に行くよう促した。	【5～6か月目】 自主グループ立ち上げに意欲的な様子。区役所の●●さんに相談し支援を依頼した。
今後の支援（区役所に伝えたい内容等）《6か月後》		
・ 10月中から自主グループが開始できるように、相談に乗ってほしい。 ・ グループの活動が軌道に乗るまで、引き続きの支援をお願いいたします。		
該当する場合○を付けてください	要介護度：事業対象者・要支援1・要支援2 / 6か月後も延長参加	

作成日 年 月 日

区 地区

ふりがな 氏名	様	性別	年齢	歳	延長 期間	() か月間 【令和 年 月 日まで】
延長参加理由						
延長参加結果（延長参加により改善された点や、評価等）、今後の支援（区役所に伝えたい内容等）						

体力測定		初回月（ / ）	5か月後（ / ）	備考
握力	左		kg	・両方の手を2回測定、それぞれの良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。
	右		kg	
開眼片足立ち			秒	・60秒以内で2回測定、良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。
Time Up & Go			秒	・2回測定、良い方の数値を採用。 ・小数点第2位まで読み取り、記入する。

事前事後評価	初回	卒業時
1 いこい元気広場以外で外出（会合、お茶飲み、散歩等）をしていますか？ ⑤週2回以上 ④週1回程度 ③月1回程度 ②年2～3回程度 ①ほとんどない ⑤や④の場合、その内容は何ですか？（複数回答可） ア 会合や習い事、趣味の教室、公園体操等のために外出している。 イ 家族や友人等に会うために外出している。 ウ 日用品等の買物のために外出している。 エ ウォーキングや散歩の習慣がある。 オ その他（ ）		
2 いこい元気広場以外で運動や趣味のために参加している活動はありますか？ ①ある ②ない ①の場合、その内容は何ですか？（複数回答可） ア 運動のグループ イ 習い事や趣味のグループ ウ ボランティア活動 エ いこい元気広場以外の市や区が主催する教室 オ その他 ⇒グループ名や内容を教えてください（ ）		
3 友人、近所の人等との付き合いがありますか？ ⑤毎日 ④週2～3回 ③週1回程度 ②月1回程度 ①ほとんどない		
4 家事や庭仕事、ペットの世話等、家の中で体を動かす習慣がありますか？ ⑤毎日 ④週2～3回 ③週1回程度 ②月1回程度 ①ほとんどない		
5 卒業後の介護予防活動の継続について、考えていることはありますか？ ①ある ②特にない ①の場合、その内容は何ですか？（複数回答可） ア 地域のグループに参加（名称・内容： ） イ 自主グループの立上げ希望 ウ 自宅で体操を継続 エ その他（ ）		

6か月後聞き取り事項

いこい元気広場に参加してから生活に変化がありましたか ①あった ②特にない ①の場合、どのような変化がありましたか（複数回答可） ア 生活に張りができた イ 意欲がわくようになった ウ 新しい友人ができた エ いこい元気広場以外で外出する習慣ができた オ 体操や散歩等、体を動かすようになった カ 膝や腰の痛みが和らいだり、杖を使う回数が減ったりなど、体が楽になった キ 人とよく話すようになった ク その他（ ）

いこい元気広場事業実施報告書(日報)

第 回

事業者:

地区

(記入者:

実施日	月 日 ()	実施時間	: ~ :
従事者 (役割)	中心となる 担当者	()	従事者 資格
	()	()	
	()	()	
	()	()	

◇参加者について◇

参加人数合計	0 人	男女内訳	男: 人 / 女: 人 / その他 人
(うち、初回参加者)	(0 人)	(うち、初回参加者)	(人) (人) (人)

※見学者は参加人数には含めないこと。

◇見学者について◇

見学人数合計	0 人	男女内訳	男: 人 / 女: 人 / その他 人
--------	-----	------	---------------------

※傷害保険の対象となる見学者について、計上すること。

※それ以外の見学者については、下記「傷害保険の対象とならない見学者」欄に具体的に記入し、見学人数には計上しないこと。

傷害保険の 対象となら ない見学者	※□にチェックをし、聞き取りができれば所属や名前を記入すること		
	☐ 地域包括支援センター職員	(人) ()	地域包括支援センター
	☐ 民生委員	(人) ()	
	☐ 町内会員	(人) ()	町会
	☐ その他	() 人 ()	

◇実施内容◇

	実施内容	実施内容の評価、振り返り
体操		
講話		

◇実施結果◇

事業一日を 通して気づ いたこと	
区役所や地域 包括支援セン ター等への報 告事項・個別 対応必要ケー ス	

【様式5】 いこい元気広場事業実施報告書

令和 〇 年度年報

従事者延人数 〇

〇 区 〇 地区 〇
事業者： 〇 (作成者：)

実施回数	参加者延人数	男	女	その他	初回参加人数(実数)	男	女	その他	見学者延人数	男	女	その他
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	修了者延人数	男	女	その他	中断者延人数	男	女	その他				
	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇				

不参加理由シート提出数 〇

緊急対応報告書提出数 〇

個別対応が必要なケース数 〇

F S総提出数(写しを除く) 〇

年齢内訳(上段：年間延べ人数)(下段：年間実数)						
計	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	64歳以下
〇						
〇						

参加ルート内訳(上段：年間延べ人数)(下段：年間実数)									
計	①紹介(区役所)	②紹介(包括)	③サ・ホスター	④おともだち紹介	⑤市からのDM	⑥タウンニュース	⑦知人からの紹介	⑧いこいの家	⑨その他
〇									
〇									

参加結果(年間実数)			
卒業		人	次年度へ継続 人
中断			〇 人
①強度が強いと感じた		④本人以外の事情	⑦介護認定の申請をした
②強度が弱いと感じた		⑤他の活動に参加するようになった	⑧外出することが億劫になった
③プログラム内容に魅力を感じなかった		⑥本人の体調不良	⑨その他

◇今年度事業計画(年度当初に記入)

◇実施後の結果・効果

◇課題となったこと及び、課題に対する改善策

従事者延人数

〇 区 〇 地区 〇

事業者： 〇 (作成者：)

実施回数	参加者延人数	男	女	その他	初回参加人数	男	女	その他	見学者延人数	男	女	その他
	〇				〇				〇			
	修了者延人数	男	女	その他	中断者延人数	男	女	その他				
	〇				〇							

不参加理由
シート提出数

事故・緊急対応報告書提出数

個別対応が必要なケース数

F S 総提出数
(写しを除く)

※各区にF S 写しを送付してください。

◇今月行った広報活動

◇今月の実施にあたって留意したこと

◇実施状況・参加者の変化等

◇終了者（中断者を含む。）の支援内容

◇来月の実施にあたって計画していること

◇実施にあたっての、区への提案・意見等

見学者報告書

〇 区 〇 地区

3月分

〇

事業者名 〇

※見学者は参加人数には含みませんので、「事業参加者出席表」には記入しないでください。

	名前	性別	年齢	生年月日	郵便番号	住所	電話番号						合計見学日数
1			歳	年 月 日									〇 回
2			歳	年 月 日									〇 回
3			歳	年 月 日									〇 回
4			歳	年 月 日									〇 回
5			歳	年 月 日									〇 回
6			歳	年 月 日									〇 回
7			歳	年 月 日									〇 回
8			歳	年 月 日									〇 回
9			歳	年 月 日									〇 回
10			歳	年 月 日									〇 回
11			歳	年 月 日									〇 回
12			歳	年 月 日									〇 回
13			歳	年 月 日									〇 回
14			歳	年 月 日									〇 回
15			歳	年 月 日									〇 回
16			歳	年 月 日									〇 回
17			歳	年 月 日									〇 回
18			歳	年 月 日									〇 回
19			歳	年 月 日									〇 回
20			歳	年 月 日									〇 回
								〇	〇	〇	〇	〇	〇 月延人数

実数	男性	〇	〇	〇	〇	〇	〇	男女比 月延数
男女比	女性	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
	その他	〇	〇	〇	〇	〇	〇	

いこい元気広場 不参加理由シート

区

地区

老人いこいの家 / 他施設

対象者氏名			年齢		性別	
対象者介護保険 被保険者番号			連絡日			
住所			電話番号			
参加期間	年	月	日（第	回）	～	年 月 日（第 回）
不参加期間	年	月	日（第	回）	～	年 月 日（第 回）
連絡を取った方	本人 ・ 家族（続柄） ・ その他（ ）					
連絡結果 ※丸を付けてください。	中断（中断日： 年 月 日） ・ 長期欠席（期間： 年 月 日～） 参加継続 ・ その他（ ）					
不参加理由	※できるだけ、本人または連絡を取った方の言葉で御記入ください。					
事業者名						
連絡先						
記載者氏名 （職種）						
区役所記載欄						

卒業後聞き取り対象者一覧表(2か月後)

	被保番	名前	郵便番号	住所	参加終了日	聞き取り月
(例)	99999999	川崎花子	000-0000	川崎市川崎区宮本町1丁目1	R5.10.11	R5.12月
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						

卒業後聞き取り対象者一覧表(6か月後)

	被保番	名前	郵便番号	住所	参加終了日	聞き取り月
(例)	99999999	川崎太郎	000-0000	川崎市多摩区登戸○丁目△-◇	R5.6.28	R5.12月
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						

【様式9】

いこい元気広場 事故・緊急対応報告書

(事業者→各区地域支援課、健康増進担当)

令和 年 月 日 区

対象者	対象者氏名				年齢		性別	
	対象者介護保険 被保険者番号				生年月日			
	住所				電話番号			
事故の概要	発生日時	令和	年	月	日	時	分	
	発生場所	いこいの家/教室【大広間・玄関・その他()】 ・ 来所途中 ・ 帰宅途中						
	事故の内容							
事故発生時の対応	対処したこと							
	受診した 医療機関	(医療機関名、住所、電話番号等)						
	容態 治療の概要							
	報告日時	令和	年	月	日	時	分	
事故発生後の対応	対応日時	令和	年	月	日	時	分	
	対応方法	電話 ・ 訪問 ・ その他 ()						
	利用者の 状況等							
再発防止に向けて、原因や対策・提案等をお書きください。								
事業所	事業所名							
	連絡先							
	記載者氏名 (職種)							

体調チェック項目

○プログラム開始前のチェック項目（体操の中止基準）

- 安静時血圧：最高血圧 180mmHg 以上、または 110mmHg 以上である場合
- 安静時脈拍：110回／分以上、または40回／分以下である場合
- いつもと異なる脈の不整がある場合
- 関節痛、腰痛など慢性的な症状の悪化
- その他体調不良などの自覚症状を訴える場合
- 体温が 37.5℃以上である場合

○プログラム提供中のチェック項目

- 正しい運動姿勢を保っているか
- 以下の自覚症状や他覚所見がないか
 - ◎ 顔面蒼白
 - ◎ 冷や汗
 - ◎ 吐き気
 - ◎ 嘔吐
 - ◎ 脈拍や血圧の大幅な変動

○プログラム終了後のチェック項目

- 対象者の様子見て、対象者が以下の状態である場合は各区地域支援課に連絡を取る。
 - ◎ 安静時血圧：最高血圧 180mmHg 以上、または 110mmHg 以上である場合
 - ◎ 安静時脈拍：110回／分以上、または40回／分以下である場合
 - ◎ いつもと異なる脈の不整がある場合
 - ◎ その他、体調不良などの運動中の留意事項に述べた自覚症状を訴える場合

見学シート

ふりがな 氏名		性別	年齢	生年 月日	昭和・昭和・平成 年 月 日
			歳		
住所	(〒 ー)	電話番号			
備考					

※御提供いただいた個人情報は、レクリエーション保険加入にかかる手続き以外では使用いたしません。

見学シート

ふりがな 氏名		性別	年齢	生年 月日	昭和・昭和・平成 年 月 日
			歳		
住所	(〒 ー)	電話番号			
備考					

※御提供いただいた個人情報は、レクリエーション保険加入にかかる手続き以外では使用いたしません。



「いこい元気広場」参加者の方へ



本日はいこい元気広場にご参加、ご見学いただきましてありがとうございました。
「いこい元気広場」について、ご説明させていただきます。

○ どういう目的で行われている教室なの？

⇒ いこい元気広場は、介護保険制度の財源にて運営する、介護予防のための教室です。介護予防とは、介護を必要とする状態を未然に防ぐために、無理なくからだを動かすことができ、心身ともに生活に支障のない状態を維持・改善することです。

いこい元気広場は、参加者のみなさんが、外出や運動等の習慣を再び身に付けるとともに、仲間づくりや、地域で行われている様々な活動にも参加されるようになることを目標とし、そのきっかけ作りとなるような通いの場として行っています。

○ いこい元気広場ではどういうことをしているの？

⇒ 毎週1回、1回あたり約90分の教室です。教室では、転ばない体づくりのための体操と、健康づくりに役立つミニ講座を行っています。

ご自宅でもできる体操や、歯や口の中のお手入れの仕方等の紹介も行い、日常生活の中で健康づくりのための習慣を身につけていただきます。

また、毎回、事業開始前に、血圧測定等の体調確認を行い、教室参加1か月目と5か月目には体力測定を行います。

○ どんな人を対象にしているの？

⇒ 川崎市内にお住まいで川崎市の住民基本台帳に記載のある65歳以上の方で、次のどちらにもあてはまらない方を対象にしています。

- 医師から運動を禁止されている方
- 要介護1～5の認定を受けている方

○ 利用期間はあるの？

⇒ 利用期間は、原則利用開始の日から数えて満6か月後の月末までです。

いこい元気広場では、介護予防に役立つ体操や知識を身につけ、利用期間終了後も引き続き生活の中で介護予防に取り組めるようお手伝いをします。

いこい元気広場参加中から、教室で覚えた体操等をご自宅で行ったり、仲間づくりをしたりするほか、利用期間終了後も地域の中で行われている様々な活動に参加できるよう、地域活動の内容や場所等をご紹介しますので、お気軽にご相談ください。

裏面へ続きます

○再参加はできるの？

⇒ いこい元気広場は、介護予防や仲間づくり、地域で行われている様々な活動にも参加されるようになることを目標とした、「きっかけ作り」の場であるため、1人1回（6か月間）の参加を基本としています。

ですが現在、「おともだち紹介キャンペーン」を実施しています。これは、いこい元気広場に参加したことがある方でも、いこい元気広場に参加したことがない方（ご友人やご家族等）を紹介していただければ、その方と一緒に、もう一度参加できるキャンペーンです。

この機会に是非、「知り合いがいない教室には参加しづらい…」と、今まで尻込みしていたお友達等を誘ってみてはいかがでしょうか？

○どんな人が教室を運営しているの？

⇒ いこい元気広場は、川崎市から委託を受けた事業者が実施しています。教室では、毎事業開始前に個別に体調確認を行い、健康運動指導士等の有資格者が介護予防のための体操を指導しています。

○教室が休みや中止になる場合はあるの？

⇒ 祝祭日と年末年始（12月29日～1月3日）は、お休みです。

その他、台風や大雪等荒天の場合、熱中症警戒アラートが発出された日は中止になります。台風や大雪で教室を中止にする場合は、教室開催前日の午前・午後 時頃までに電話で中止の連絡をいたします。

また、ご自分の体調に合わせて、体調が優れない日等は無理せずお休みしてください。

○体操についていけるか心配なのですが・・・。

⇒ いこい元気広場は、運動や歩くことが不安な方等を対象に実施していますので、ご自分の体調に合わせてご参加いただけます。また、体操をしてみて痛む場合等は、無理をせずに、できる範囲でご参加ください。

○卒業した後は何をすればいいの？

⇒ 地域で行われている様々な介護予防活動に参加していただくことやご自身の体調等に合わせて体を動かす等、介護予防活動を継続することをおすすめしています。また、地域の介護予防活動等のご紹介は、いこい元気広場実施事業者、区役所地域みまもり支援センター、地域包括支援センター等で行っておりますので、ぜひご相談ください。

卒業の約2か月後及び6か月後には、状況を確認するために郵送でアンケートをさせていただく予定としておりますので、ご協力をお願いいたします。

※その他、いこい元気広場についてご質問がありましたら、お気軽にお問合せください。

（株）〇〇〇

電話×××－××××

担当△△

【様式 10-1】(いこい元気広場事業)

個人情報の取扱いに関する基本方針

記

業務内容等

川崎市が委託するいこい元気広場事業において、参加者フェイスシート（氏名、年齢、住所、電話番号、体力測定、事前事後評価等）、事業の際の記録用紙（出席表、日報、月報、体力測定記録表等に記載された情報）により、個人情報を収集します。

個人情報の利用目的

- ・ 事業の中で本人の状態に応じた対応を行うため
- ・ 事業の評価を行うため
- ・ 介護予防活動を支援するため

提供する第三者と利用目的

「業務内容等」で示した情報を、次の目的で提供することがあります。

- ・ 医療機関（主治医）：医師等の意見・助言を求めるため
- ・ （管轄）地域包括支援センター：本人の健康状態等に応じた対応を行うため

個人情報に関する問合せ

本人が希望する場合には、自身の個人情報に関して、開示・訂正・削除や利用提供の停止等を求める権利があります。

個人情報の管理責任者

- ・ 委託先事業者

事業者名：_____

役職、氏名：_____

電話番号：_____

- ・ 川崎市健康福祉局保健医療政策部健康増進担当課長

電話番号：０４４－２００－２４１１

事業内容の確認について

私は、「いこい元気広場」の事業目的、事業内容、利用期間及び個人情報の利用目的について、川崎市が委託する実施事業者から説明を受けたことを確認します。

川崎市長 宛て

☐ この事業で収集した氏名、住所、電話番号、年齢、体力測定、事前事後評価等に関する私の個人情報を、次の目的のため、それぞれの機関に提供することに同意します。

- ☐ 川崎市が、上記の個人情報を本事業の評価及び介護予防活動に関する情報提供を行うために、使用することに同意します。

- 令和 年 月 日

住所 川崎市 区

氏名

34